



ひだまり

さくら千手園 佐倉市青菅1019 043-462-2008
木の宮学園 佐倉市青菅1051 043-463-1008
レインボー 佐倉市青菅1051 043-463-1128

sakurasenjuen@deluxe.ocn.ne.jp
kinomiya@green.ocn.ne.jp
s-rainbow@smile.ocn.ne.jp

目次

散歩道	1
さくら千手園	2
千手会夏祭り	2
親子宿泊旅行	2
千手園日記	3
木の宮学園	4
グルメ企画	4
料理体験	4
木の宮日記	5
総合防災訓練	6
アプローチ	7
障害保健福祉改革のグランドデザイン(その2)	7
情報フラッシュ	8



千葉県ゆうあいピックソフトボール大会

散歩道

まだ暑さの残る9月中旬、千葉県障害者スポーツ大会ソフトボール競技会が開催されました。千手会で有志を募り、10人で試合に臨みました。

試合会場の成田市北羽鳥ソフトボール場は最近新しく出来た球場で、広い敷地に球場がいくつもありませんでした。普段練習の時に使用しているグラウンドより何倍も広い球場を見て、皆目を丸くして立ち尽くしてしまいました。それでもグローブとボールを手にすると、広い場所をめいっぱい使って楽しむようにキャッチボールをしていました。軽く汗を流した後、いよいよ試合が始まりました。相手チームのエースに打線は沈黙し、強力打線に守備陣は右に左に走らされてしまいます。それでも試合終了間際、ヒットが続いて何とか1点を取る事が出来ました。試合には負けてしまいましたが、皆で取った1点を喜び合いました。

まだまだ先行きの見えない福祉業界ではありますが、千手会一同これからも力を合わせ頑張っていきます。今後とも温かい御愛顧をお願い致します。

さくら千手園

第十八回 千手会夏祭り

8月6日、夏祭り当日の朝。天気は晴れ。「さあ、楽しむぞ」そんな声が聞こえそうなくらい、みんな良い顔をしています。今回のアトラクションは、バットゴルフ・ヨーヨー釣り・輪投げ・ストラックアウト。そして最も利用者が興味のある飲食店舗は、焼きそば・ラーメン・フランクフルト・唐揚げ・うどん。夏祭りが始まると同時に飲食店舗を目指している。唐揚げとフランクフルトを同時に頬張る人、焼きそばに唐揚げを乗つけて肉焼きそばにしている人。そんな人を見て「あれ美味しそう」「僕も食べたいよ」等々。

アトラクションコーナーでは好成績を残しどんどん景品を獲得する謎の景品キラー。どのコーナーもキラキラ光るみんなの笑顔でいっぱい。目で、舌で、全身



(長谷川)

で、夏祭りを楽しんでいる利用者
の姿を見ていると、「こんな行事
が、ずっと続けば良いなあ」そんな
言葉が頭を駆け抜けます。

今年度で18回目の夏祭り。こ
れから、20回・30回……、と
続いている事を想像していたら自
然と笑みがこぼれていました。

親子宿泊旅行

9月9日晴れ。天候に恵まれたこの日は、親子宿泊旅行の初日です。みなさん朝早くから起きてバスに乗り込み、旅行の出発を今か今かと待っています。

「おはようございます。今日はとても良い天気で……」とバスガイドさんがお話をしている中、利用者みなさんは黙々と朝食を食べています。まずは中央道から一路山梨へ。昼食は和洋折衷のバイキングでした。みなさん笑顔でどんどん食べています。

昼食が終わると再び中央道に乗っていざ長野県へ！長野に着いた後は、一昔前からCMで有名な『白樺リゾート ファミリーランド』へ向かいます。ジェットコースターあり、犬や猫と触れ合えるコーナーもあり、みなさん充実した時間を過ごされたようです。

初日の夕食。例年なら宴会場で会席を食べるはずでしたが、今年は一味違います。なんと夕食もバイキングなのです！しかも、大きなカニも出てきます。利用者みなさんだけでなく、保護者の方々にも満足して頂けたようです。

2日目。集合写真を撮り、向か

った先はテディベア美術館です。たくさんテディベアが数々のストーリーを奏でながら私達に微笑みます。

テディベア美術館を出ると、ピナスラインを通ってこの旅行最後の食事をします。これもまた蕎麦とうどんの食べ放題でしたが、さすがにあまり食べられなかったようです。食べ放題ばかりの旅でしたが、みなさんは楽しんで頂けたでしょうか？

最後に、旅行に利用者全員が参加できた事、とても嬉しく思います。ありがとうございました。

(海老澤)



さくら千手園

王監督だよ!

曇った空を見上げ、「雨よ、降るな」と願いながらやって来ましたが千葉マリンスターダム。駐車場はすでに満車!? 数年前は閑古鳥が鳴いていたけど今年は優勝争いをしているため平日なのにスタンドは満員です。お弁当と飲物を手に席につくとソフトバンクの選手が練習しています。突然Kさんが叫びました。「王監督だよ」両チームで唯一知っている顔「王監督」を見つけて皆大喜び、それだけでもう大満足だ。試合が始まると心配していた雨が少しずつ降ってきま

したが、ホームラン2本、300発の花火に思わず席を立って拍手を送ります。マリンスターズが逆転で試合も勝ち、大満足で帰路へ着くとKさんが一言「ジャイアンツ対マリナーズの試合良かったよ、イチローもヒット打ったよ」あれれ!? Kさん、王監督はソフトバンクだよ。

(太田)



電車でGO! 島根編

秋の気配を感じる9月末、島根県にある玉造温泉へ2泊3日の旅行に出かけました。羽田空港から出雲空港へ降り立つと、そこは山と湖が広がるのどかな別世界。2両編成の電車に乗り、横に流れる景色をみながら玉造温泉へ向かいます。宿泊先の旅館はとても落ち着いた趣きで、美味しい食事、部屋から眺める景色、そして何よりも温泉がすごい。広いスペースに広がる大浴場と露天風呂。「広いな」「気持ちがいいね」と皆思っている感想を口にしていまし

た。翌日は再び電車に乗り、湖を一周しながら出雲大社、松江城を巡り、のんびりとした時間を過ごしました。美味しい食事、のんびりとした時間、誰かもう一度行きたいと思える楽しい旅行でした。

(永瀬)

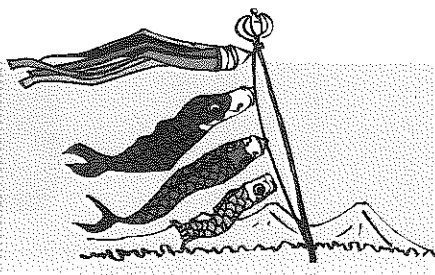


大群に感動

6月の梅雨の時期に、2泊3日の鬼怒川に行ってきました。天候にも恵まれ、皆怪我もなく無事に3日間を過ごし、良い旅の思い出ができた事と思います。一日目、あじさい公園に向かったところ、なかなかあじさいの姿が見えず、話を聞くと「まだ時期ではない」とのこと。その後ドライブを続けると、なんと、小さな鯉のほりの大群が見え、皆興奮でした。そして、一番印象に残ったのは、「花いちもんめ」というペコニアの植物園です。外観から見える景色はあまり皆のお気にめす場所ではなかったようですが、一歩足を踏み入れると、とてもキレイなペコニアの大群が天井からぶら下がっていたり、利用者・職員共に「キレイ」「これはスゴイ」等の言葉が飛び交いま

した。とにかく、M・Iさんはお花に釘付けで、皆こぞとばかりに、シャッターチャンスをとらえ、キレイなお花の前で笑顔満点でした。

(矢島)



木の宮学園

グルメ企画

今年度より木の宮学園では新しい企画として『グルメ企画』というプログラムを始めました。この企画は「食べる楽しみ・選択する楽しみ・外出する楽しみ」の3つの食に関する楽しみを主に考え、基本的にはユーカリが丘周辺でのレストランでバイキングを楽しんでいます。

今年度はすでに3回のグルメ企画が実施されていて、1回目は四街道の和風バイキング、2回目は志津のカーニバルブッフエ。3回目は千葉ニュータウンにある「パペーノ」というイタリアンバイキングです。

バイキングでお店に入ると皆待ってましたとばかりに嬉しそうに目を輝かせます。「全部食べるんだ!」「ケーキが美味しそう!」「ラーメン!スバゲテイー!」と店内



に並べてある食事をどれから食べようかと品定め。キョロキョロと目移りしながらも、好きなものはしっかりと選んでテーブルに運んでいました。あんなにたくさんあったのに、皆で食べるとあっという間です。お腹の中に一杯の食事と思いを詰め込んで「また行こうね」と言いながら学園への帰路に着きました。(小石)

料理体験

「自分で料理を作れるようになってほしい」「将来の事を考え少しでも練習したい」などの要望から始まった料理体験。今年で三年目となりました。過去二年、近隣のグループホームのキッチンを借りていましたが、今年からさくら手園にある生活訓練棟「プラボー」で実施することになりました。

昨年までは一グループに一人の職員が担当し一年間活動してきましたが、今年からは三グループを二人の職員が担当しています。年間それぞれのグループが五回の料理体験を行っています。皆さん腕前も上がってきたようです。

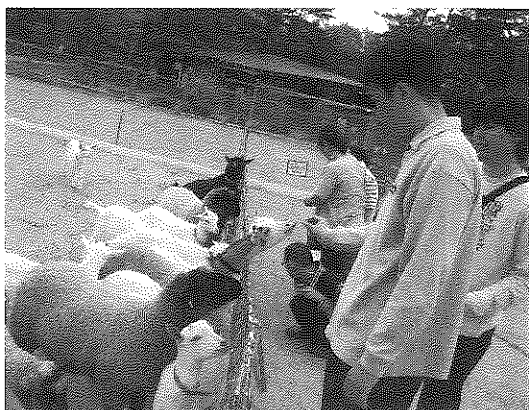
まずはメニュー決め。本を見ながら主菜や副菜など各自作りたいものを決めていきます。当日、スーパーへ行き、必要な材料を探しながら買い物を行います。そして、調理開始。本を見ながら一人で調理する人、職員と確認しながら行う人皆頑張っています。

試食では「美味しい」「ちょっと



と味が足りない」など反省も交え楽しい時間。「家でも作ってみる」という人もいたのでレシピはコピーして持ち帰り、家でも調理をした人は家族からも好評だったようです。

最近は一〇〇さんに食べさせた「い」との希望もあるので食事会の開催も考えて行きたいと思っています。(新井真)



なめられた～(笑)

5月26日、27日暑からず寒からず皆笑顔で那須へゴー！！

一日目、サファリーパーク。エサを買いバスの窓からそーっと手を出すと、ヤクやキリンが舌を出しペロリ。「キャー手をなめられた～」とうれしそうにでもびっくりえらく皆、興奮気味。夕方までしっかりと遊んで宿泊先のサンパレーへ。男子組は素敵なお茶会へ。女子組は少し気取った洒落たホテルへと各々ワイワイ。夕食は皆でバイキングでワイワイとその夜は疲れたのか皆早寝でした。

二日目は、南ヶ丘牧場。車だ人だと邪魔されずにのびのびと散策を楽しみ、小動物のいる柵の中でエサやりをし「又なめられた～」と昨日のサファリーパークでも手をなめられたIさんの声。皆それはうれしそうな顔・顔……。

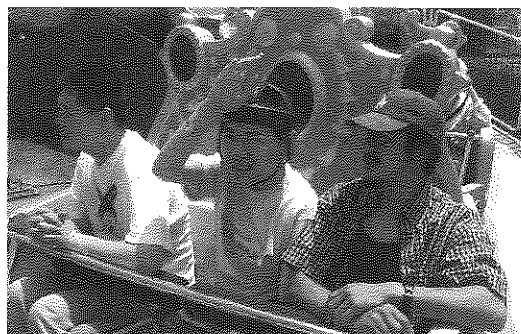
間に突然降り出した雨。ソフトクリームをほおぼって慌てて車の中へ。お菓子の城でお土産を買い食事をして、皆ウトウトしたら我が園に到着！！楽しかったネ！！又行こうネ！！ (中野)

行ってきました茨城。空模様は、少し曇っていましたが、皆元気に出発しました。国営ひたち海浜公園のアトラクションでは、南極の気温が体感でき、身も凍る様で体の芯が冷え切って「寒いよー。」と震えながら言っている方がいました。潮騒の湯では日中の汗とほこりを流した。地下1、500メートルから湧き出る天然療泉で、神経痛や冷え症、疲労回復などに

いほらき探検隊

に良く効くそうです。「お肌がつやつやになって卵のようだわ。」と話している方もいました。潮来では、びちびちの海の幸をふんだんに使った回転寿司に舌鼓を打っていました。「このウニ美味しいね。」と口一杯はお張っていたのが印象的でした。皆さんも機会があったら自然の息吹あふれる茨城に足を運んでみてはいかがでしょう。 (松田)

木の宮日記



海 食



「夏だ！海水浴だ！バーベキューだ！」というメンバーが集まり、勝浦の海を目指して出発。高速道路に入り、さあ海まで一走りと思いきや、大渋滞のため順路変更。一般道での旅となり、予定より少し遅れて海に到着。海水浴場でも人の多さにビックリ。なるべく人の少ない所を探して場所を取り、待ちに待った海水浴。波打ち際で海藻を集めて遊ぶ人・腰まで海に浸かり遠くを眺めている人など過ごし方は様々。楽しい時間はあっという間に過ぎ、宿に戻るとすぐにバーベキュー大会開始。野菜・海の幸・肉・焼きそばと沢山の材料がすぐに消えていく。二日目は悪天候のため磯遊びに変更。食と遊びを満喫した一泊旅行でした。 (山崎)

平成 17 年度 総合防災訓練

地震列島日本は、毎日の様に何処かで地震が発生している。「何時起きるか分からない大地震」と言われていた地震が頻発しており、自然災害である勢力の非常に強い台風が毎年の様に上陸している。台風は気象衛星からの情報で事前に予想がつくが、地震は予知をする術がほとんどないといって良く突然発生する。そんな恐ろしい地震に対処するべく、今年も佐倉市八街市酒々井町消防組合「志津消防署」・交通防災課・消防団・自衛隊の佐倉隊友会・防災安全協会・保護者・地域住民等多くの関係者の参加による防災訓練を常に緊迫感を持ち真剣に実施した。

特に日中の職員教育は、従来の CPR「心肺蘇生法」に加えて、昨年の 7 月から一般市民にも扱える様になった AED「自動体外徐細動器」についても初めて講習を受けた。AED とは心臓の鼓動の波状を自動的に読み取り、必要であれば心臓に電気ショックを与え心室細動を取り除く事が出来る救命機器である。所定の場所にパッ

ドを貼りスタートボタンを押すと、後は機械が自動的に適切な処置を行ってくれる。一連の操作は機械が音声ガイダンスで指示してくれる為扱い易いが、少々高値で施設に保有する事は現状では難しいので、機会を見て操作の体験を重ね技術を身につけていき、いざという時に利用者の安全に寄与していきたい。

大地震の後、火災が発生したという想定のもと夜間に行われた利用者の避難訓練では、深夜まで訓練に参加していただいた消防署・消防団の方々も極めて真剣に利用者の救助にあたっており緊迫感のある訓練を行うことが出来た。

今年もこの訓練を取材した北総読売、地元チャンネル 29.6 テレビ局が訓練を取材し、広く市民に広報して頂き感謝している。

最後になりましたが、深夜まで訓練に参加された近隣の皆様、消防署・消防団・保護者会・見学研修者等の皆様にこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。

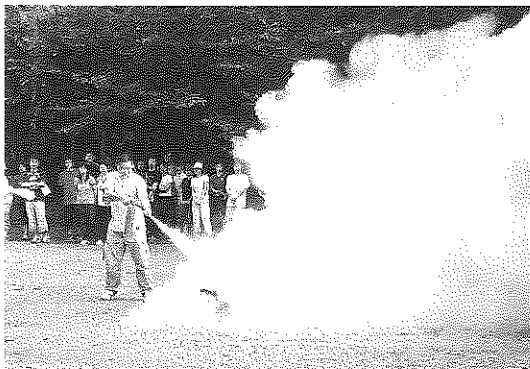
(沼倉)



AED (自動体外徐細動器) の演習風景



志津消防署副署長岡田文夫氏による「防災力」について



グランドでの消火器演習風景



夜間防災訓練での消防隊員による救助風景

Approach

アプローチ＝接近する・研究方法

障害保健福祉改革のマンダートプラン(2005) 障害者自立支援法案とは！

「第1回障害者自立支援
法案学習会での意見を
受けて……」

標記の学習会での様子は前回に記載しましたが、その場での意見等を受け、地元佐倉市議会では「障害者自立支援法案に対する意見書」を地方自治法第99条の規定に従い、内閣総理大臣・厚生労働大臣及び衆参両議院長宛に提出して頂きました。要旨は『急激な制度移行に加え、その詳細が明らかにされていないことを要因とし、障害者やその家族、関係者に不安の声があるため、法案の審議に当たっては制度の周知や準備期間の確保に留意し、慎重な審議をされるように要望する』と言ったものです。地域の当事者団体等からの声を議会と言う場で協議し、意見書を作成して頂いた事は佐倉市民として大きな意義があったと思います。

「衆議院は通過していたが解散、
総選挙で廃案に……」

去る8月8日に郵政民営化法案が参議院本会議で否決され、衆議院が解散し、障害者自立支援法案も廃案になりました。尾辻厚生労働大臣は10日の閣議後の記者会見で廃案になった法案について「障害者施策の谷間を埋めるもので、頓挫させることはできない。(次の臨時国会で)成立させるべく努力したい」と述べ、法案を再提出する意向を表明しました。しかし、示されていません。今後のスケジュールは不透明になり、来年1月からの自己負担徴収の実施予定時期は確実に延期されるでしょう。ある意味、より慎重な議論をする時間が設定できたと解釈すれば、良かったのかもしれない。ともあれ、各政党のマニフェストには障害者施策に対する考え方も示されていますが、皆様方はお読みになりましたでしょうか？

「第2回障害者自立支援法案学習会」

9月10日(土) 佐倉市南部地域福祉センターでテーマを『地域

地域におけるサービス提供体制の整備のポイント

- ◆より障害者の能力や適性に応じた個別の支援が行われるよう、既存の様々なサービスを機能に着目して再編
- ◆一つの場所で、複数の事業を組み合わせて運営する多機能型を可能にする。
(既存の施設や事業が移行する場合は、現在の利用者の状態等を踏まえて、事業を選択して実施)
- ◆重度の障害者を対象にしたサービスを創設
《訪問型(重度訪問介護、行動援護)、通所型(生活介護等)、居住型(ケアホーム)、包括的なサービス提供型(重度障害者等包括支援)》
- ◆既存の施設については、概ね5年程度かけて、新たな体系に計画的に移行。
(平成18年10月から平成24年3月までの間に移行)
- ◆小規模作業所については、良質なサービスを提供する作業所が、都道府県の策定する障害福祉計画に基づいて計画的に新たな体系に移行できるようにする。
- ◆障害福祉計画に基づき、自立支援給付と地域生活支援事業を組み合わせて、総合的な支援体制の確立
(地域生活支援事業として、相談支援、コミュニケーション支援、日常生活用具の給付等、移動支援、地域活動支援等を、市町村が都道府県と協力して実施)

で暮らしていくには？安心して生活できる場合は？」として開催しました。偶然にも選挙日の前日になってしまいました。今回は当事者とその家族を中心に話し合う設定とし、前半は法案が廃案となった経過説明等を行い、後半はグループディスカッションを企画しました。約60名が参加し、一人一人が自らの言葉で今後の暮らしや法案に対する疑問等を語り合いました。又、閉会には次回の学習会開

催テーマを参加者から集い、恐らく予算関連法案でもある「障害者自立支援法案」は早い時期に再提出される可能性もありますので今後の企画に反映できるように、参考にしたと考えています。今度こそは当事者やその家族等に対し、真摯に説明責任を果たし理解を求める努力を最大限に考慮し、より良い法案になる事を期待しています。

行事予定

10月

- 13日 千葉県障害者フライングディスク大会 ⊕ ⊕
- 22日 第10回木の宮フェスティバル ⊕
- 26~28日 個別外出温泉2泊 ⊕
- 27~28日 グループ旅行⑤ ⊕

11月

- 10~11日 グループ旅行⑥ ⊕
- 25日 障害者自立支援法説明会 ⊕ ⊕
- 25日 家族懇談会 ⊕

12月

- 1日 さわやか芸能発表会 ⊕ ⊕
- 8~9日 グループ旅行⑦ ⊕
- 27日 千手会年忘れ会 ⊕ ⊕

1月

- 13日 餅つき会 ⊕
- 14日 新年会・餅つき会 ⊕

⊕：千手園 ⊕：木の宮学園

6月20日から千手園で非常勤作業指導員としてお世話になっております。今迄は事務職として全く違った環境で働いておりました



さくら千手園作業指導員 矢野直代

ようしくお願いします

「寄付に感謝いたします」
千手会夏まつりにご支援・ご参加いただきました皆様へ
（宗真言宗豊山派宗務所様）

ので、不慣れな点が多く皆様にご迷惑をおかけしております。自分としては毎日が新鮮で楽しく過ごしております。これからは利用者の方々とも一日も早く信頼関係を結ぶよう努力をしていくつもりです。アタフタと廊下を走っている私を見かけましたら「矢野ちゃん!」とお声をかけて下さい。笑顔を忘れず頑張りますので今後ともよろしくお願い致します。



さくら千手園事務員 齋藤薫

私は生まれも育ちも千葉県市川市で学校も全て市川、結婚後もずっと市川に住んでおりました。佐倉には十五年前から住み、とにかく千葉が大好きな私です。と言うより千葉から出た事がないので他の県の良さを知らないのです。いつも「アイラブチバ」と言っている友達に笑われています。縁あってさくら千手園でお仕事をさせて頂く事になりこれから先色々あると



さくら千手園作業指導員 友野弘美

8月から、管理課事務室でお世話になっております。齋藤薫と申します。
以前は販売職についていたのですが、事務職についたのは今回、初めてのことにあります。いろいろと至らぬ点が数多くあるとは思いますが、精いっぱい努めていきたいと思っています。
現在の目標は、利用者の方や職員の方のお名前を、全員分かるようになることです。なかなか覚えられませんが、徐々に馴染んで行ければと思います。
どうぞ宜しくお願い致します。

お世話になりました

萩原江利子（さくら千手園事務員）
服部 厚子（木の宮学園栄養士）
福田 尚哉（木の宮学園作業指導員）
は思いますが諸先輩の皆様宜しくお願い致します。そしてさくら千手園と巡り会えた事で「アイラブチバ」から「アイラブサクラ」と言えるようになっていと思っています。

編集後記

2005年日本国際博覧会（略称：愛知万博）が9月25日に閉幕した。初めて万博が開かれた1970年には科学技術の発展に重点が置かれていた。それにより人々が便利になり幸せがもたらされると考えられていた。しかし今回の万博ではそれに加えて環境をテーマにしてどういう未来がよいのか考えられていた。
障害者福祉では障害者自立支援法など新たな仕組みが考えられている。システムの合理化に重点を置くだけでなく、利用者により良い環境をテーマにどういう未来がよいのか考えて欲しいと思う。

（小川由）